

ふれあ

新型コロナウイルス感染症が、完全には収束していない現在、保育・教育の現場で働く当会会員の皆様には、日々子どもたちの健康管理はもちろん、手洗い・消毒などの徹底に努め、尽きることのない労力を注ぎ、子どもたちが、毎日安心して過ごせる保育環境を作ってくださいという事に感謝いたします。

当会役員改選により、一期二年間の任期で、今年度より倉敷市民間保育所協議会会長を仰せつかりました。また当会新役員も別項のように決まっております。必ず来るポストコロナの新しい社会を待ち、今、当会にできることは何かを考え、各委員会それぞれの課題を進めていける所であり、また不足で色々と思いますが、新役員、会員皆さんのご協力を得ながら、精一杯努めさせていただきます。

協議会は、子どもたちのこやかな育ちを願う保護者の皆様と共に保育・教育活動を行う倉敷市内の認可保育園認定こども園等八十七園が加盟構成する公益社団法人です。

一、乳幼児の保育に関する普及啓発事業
二、保育所等の保育環境の充実及び向上を推進する事業
三、保育所等職員の研修ならびに福利厚生に関する事業
四、その他この法人の目的を達成するために必要な事業

この四事業を中心に掲げ日々の活動を行っています。当会会員園また会員の皆様においては、この四事業にご協力をいただき、子どもたちの成長の過程に何が必要なのかを互いに求め、保育・教育に喜びと誇りを持ち、ただただ子どものために、日々の仕事に勤めておられることだと思います。

しかしながら、実際の保育・教育の現場は慢性的な保育士（職員）不足に悩まされ、疲労の蓄積という悪循環に陥っています。行政による保育士賃金の引上げや、業務負担軽減のためにICTの活用促進等の工夫も行っていますが、根本的な解決

決には全く至っていないのが現状です。

特に若年者の減少する今、私立園では新卒者の採用の確保が、年々厳しくなっています。

更には、公的なハローワーク等からの紹介採用も少なくなり、その結果として、民間の有料職業紹介事業者（以下、紹介会社）等が増えています。紹介会社へ高額な紹介料を負担しても、現場の保育士の負担等を考えた場合、保育士の確保ができなければ運営自体が成り立たないという現実、紹介会社に頼らざるを得ない現状が生じています。

ただし、紹介会社を利用する保育士側から見れば、場合によっては、各園の採用条件が分かれやすいため、職場を見比べて選びやすく、利用に拍車がかかっています。施設の運営面から考えた場合には、大切な運営維持・職員への手当となる保育所委託費（施設給付費）の中からは、人材確保のためとはいえ、多額の手数料を拠出しなければならぬという、本当に矛盾した状態に陥っています。早急に人材紹介サービスの在り方について、紹介手数料等について

ての議論が必要であり、社会的な今後の是正が急務です。これは、保育業界だけではなく、人材不足になっている他業種にもつながる事だと思っています。

岸田文雄総理が、先の所信表明演説で分配戦略第三の柱として、「介護、看護、保育などの現場で働いていく方々の収入を増やしていくこと」です。新型コロナウイルス、そして少子高齢化への対応の最前線にいる皆さんの収入を増やしていくべきです。そのために、公的価格評価検討委員会を設置し、公的価格の在り方を抜本的に見直します。」との言葉がありました。

国の施策として保育士に、業務の内容に応じた賃金保証をさせていただき、魅力ある職場と保育現場の質の向上に繋がっていくようにしていただきたいと思います。

現状のまま保育現場の人材育成がなされなければ、仕事をしたい保育士、高年齢者、障がい者たちが、皆で支え合い安心して生活できる地域づくり、産業や教育の要素も加えた「元気を創る」元気を生み出す地域拠点を確立され、法人が運営される事業所数は、十八施設にも及びます。

この度の栄誉を心から祝い申し上げますとともに、健康にご留意され、倉敷市の子どものため、今後ますますのご活躍を祈念し、私共保育関係者にご指導をいただきましたこと、心より感謝申し上げます。

山中富士子先生 瑞宝双光章 受章

誠にありがとうございます。

山中先生は、岡山市内の保育園に保育士として四年間勤務後、昭和四十七年九月、社会福祉法人四ツ葉会杉の子保育園開園と同時に保育士として勤務、昭和五十年九月から園長に就任され、現在まで変わらぬ温かい眼差しで、子どもたちを見守ってこられました。杉の子保育園は、令和二年四月から、幼保連携型認定こども園すきのご認定こども園に移行されています。

半世紀以上にわたり、乳幼児保育に邁進された山中先生の保育界における貢献度は、計り知れません。常に英姿颯爽としたお姿は私たちの憧れであり、保育教育に精魂込め天職を全うすべく一心に努力を重ねられるお姿は他に類を見ません。

私共、公益社団法人倉敷市民間保育所協議会では副会長としてご尽力を賜り、また、日本保育協会岡山県支部では、理事や女性部長に就任される等、各種保育団体の要職を歴任してこられました。

さらに法人理事として、常に斬新な発想で、児童、高齢者、障がい者たちが、皆で支え合い安心して生活できる地域づくり、産業や教育の要素も加えた「元気を創る」元気を生み出す地域拠点を確立され、法人が運営される事業所数は、十八施設にも及びます。

この度の栄誉を心から祝い申し上げますとともに、健康にご留意され、倉敷市の子どものため、今後ますますのご活躍を祈念し、私共保育関係者にご指導をいただきましたこと、心より感謝申し上げます。



保育園・認定こども園の未来とこれからの課題について

公益社団法人 倉敷市民間保育所協議会 会長 新見 彰堂



●正会員園 新園長

新任・転任園長先生の紹介



天城保育園 藤原 かおり先生

今年度より、天城保育園の園長に就任いたしました。一人一人に寄り添い、大切にしたい保育に努めながら、子どもたちや保護者の皆様だけでなく、園の職員も笑顔で楽しく過ごせるよう、安心安全な日々が過ごせるよう精いっぱい頑張っていきたいと思っておりますので、ご指導の程、よろしくお願いいたします。

幼保連携型認定こども園 小ざくら保育園 山本 己晴先生

令和3年4月より、小ざくら乳児保育園から幼保連携型認定こども園小ざくら保育園に異動となりました。保護者の皆様に安心してお子様を預けていただけるように精進して参りたいと思います。今後ともご指導ご鞭撻の程、よろしくお願いいたします。

小ざくら第二保育園 中谷 成美先生

園の保育の特色である、異年齢児保育・家庭的な雰囲気大切にしながら、7時～夜中の2時まで保育を行っています。子どもたちの育ちを温かく見守り、職員とともに成長していきたいと思っております。よろしくお願いいたします。

ドルフィン・キッズ保育園 木村 香織先生

この度、ドルフィン・キッズ保育園の園長に就任いたしました。「皆に優しく、共に楽しく」の基本理念を基に、子ども、保護者、職員、皆の笑顔があふれる保育園となるよう努めて参ります。今後ともよろしくお願いいたします。

小ざくら乳児保育園 村川 大介先生

令和3年4月より、社会福祉法人クムレ内の小ざくら第二保育園から小ざくら乳児保育園へ異動となりました。まだまだ若輩者ではございますが、今後ともご指導ご鞭撻のほど、よろしくお願いいたします。

ルンビニ保育園 松峰 美和先生

前年度の途中より、ルンビニ保育園園長に就任いたしました。「健康で明るくたくましい子。思いやりのある子。自主性のある子。」を保育目標に、元気に楽しく園生活を送れるよう職員一同と保育していきたいと思っております。よろしくお願いいたします。

●準会員園 新園長

小谷かなりや第二小規模保育園 河原 由美子先生

子どもたちが安心して、園生活が送れるよう第二の家庭を目指しています。一人一人の成長に合わせた細やかな保育ができるように、職員一丸となって頑張っていきたいと思っております。よろしくお願いいたします。

新規加入園

●準会員園…小谷かなりや第二小規模保育園 (R3.4.1～)

園名等変更

●水島地区 (新園名) 遍照連島保育園 ←(旧園名) 倉敷市連島保育園
●玉島地区 (新園名) 幼保連携型認定こども園 よしうら認定こども園 ←(旧園名) よしうら保育園

令和3年度 新 役 員											
監事	監事	監事	広報副委員長	広報委員長	事業副委員長	事業委員長	制度副委員長	制度委員長	予算対策副委員長	書記	庶務
大山 厚信 (認定こども園)	中桐 哲夫 (みちる保育園)	小松原 望 (のぞみ保育園)	木村 香織 (ドルフィンキッズ保育園)	内田 陽子 (沙美保育園)	木村 光貴 (ひまわり乳児保育園)	津田 礼子 (若竹の園)	中谷 成美 (小ざくら第二保育園)	磯崎 三貴子 (第三福田保育園)	佐藤 玲子 (琴浦中保育園)	大原 恵子 (幼保連携型認定こども園 遍照)	田鶴原 浩加 (鳥の子保育園)
											新見 彰堂 (三保認定こども園)
											吉田 久 (乳児保育園)
											赤澤 美佐子 (瀬崎保育園)
											荻野 佳子 (和井田保育園)
											重本 優子 (乳児親和保育園)
											大西 美子 (笹沖保育園)
											田鶴原 浩加 (鳥の子保育園)
											大原 恵子 (幼保連携型認定こども園 遍照)
											佐藤 玲子 (琴浦中保育園)
											磯崎 三貴子 (第三福田保育園)
											中谷 成美 (小ざくら第二保育園)
											津田 礼子 (若竹の園)
											木村 光貴 (ひまわり乳児保育園)
											内田 陽子 (沙美保育園)
											木村 香織 (ドルフィンキッズ保育園)
											小松原 望 (のぞみ保育園)
											中桐 哲夫 (みちる保育園)
											大山 厚信 (認定こども園)

新型コロナウイルスが、日本で確認されてから2年がたとうとしています。

自治体のホームページやニュースなどの情報によるとワクチン接種率も50パーセントを超え、希望者への接種も11月にはほぼ完了するのではないかと言われています。

コロナ禍の中で、不要不急の外出や県外への移動が制限されてきたり、大人数で集まることや旅行なども、自由と感じられることもたびたびありました。

保育園では、感染対策をしながらの日々の保育や行事への取り組みをおこなってまいりました。

このような状況でも子どもたちの元気のいい声が園の中で響いています。

歩いていこうと、おしゃべりができ始めた、一人で着脱ができたなど、たくさんさんの初めての小さな達成が日々の保育の中で起こっています。

日常のちよとした発見に私たちは癒されています。子どもの力は絶大です。

たいせつな乳幼児の時期に携わっている保育園、すべての子どもたちが心豊かに過ごせるそんな世の中になつたら、そしてその子どもたちにかかわるすべての人が心ゆとりをもつて優しくかわれたらと思います。

子どもたちが、健康に過ごして、成長することが何よりうれしく、今までの通りでないことを気にするのではなく「今できることをする」という気持ちで、忙しい日常の中でほっとできる空間・心の切り替えのできる、心のゆとりを持ちたいと思っています。

ちまた

訃報



大西 吉三 先生

社会福祉法人粒栄会 理事長
鳥の子保育園・新田保育園
笹沖保育園 前園長
令和3年8月21日
ご逝去 (84歳)

昭和48年に社会福祉法人粒栄会を設立し、鳥の子保育園・新田保育園・笹沖保育園の理事長・園長として長きに渡り、保育事業に力を尽くしてこられました。

厳しさの中にも人情深さのある心優しい先生でした。心よりご冥福をお祈りいたします。

保育園でのSDGs ～はじめのいっぽ～

絵本を通じて...

SDGsを知るきっかけとして、まずは子どもたちが大好きな絵本を通じて、分かりやすく伝えていきました。
「そのマーク知ってるよ!」「〇〇することが大切なんだね」など子どもなりに理解し、様々な声が聞かれました。



小さな子どもたちにもわかりやすく語りかける、環境テーマの絵本です。



食育の取り組み

園の畑で様々な野菜を栽培したり観察したりし、「食」に触れ合う機会を多くつくっています。

普段の生活の中に「食」の大切さについての経験を加えることで、食への興味に繋がったり、食べ物を食べるありがたさや感謝の気持ちを育んだりできるようにしています。



自分たちで育てた野菜を頑張って食べようとする姿も多く見られ、残食量を減らすことにも繋がっています。



最近、さまざまなところで話題に上がるSDGs。今回はその活動に取り組んでいる各園の様子をご紹介します。普段の保育の中に、SDGsとつながる活動はたくさんあります。SDGsを身近に感じ、ご家庭でもお子さんとできることを探してみてくださいね。



廃材利用

牛乳パックや段ボールなどの廃材を使って、玩具作りをしたり、子どもたちが工作遊びに使ったりして、廃棄物の再利用をしています。

家庭からも廃材を集めて、自由に制作活動ができるように、廃材コーナーを作っています。



廃材で作った楽器で音楽あそび

廃材で作ったのりもの

その他の取り組み



電気や水などのエネルギーは無限ではないことを知らせ、使わない電気は消す、水は出しっぱなしにしないなど、大切に使うことを伝えています。



「みんなちがって みんないい」
一人一人の個性や違いを認め、受け入れていくことを大切にしています。



いろいろな災害を想定して、避難訓練を行い、備蓄の準備もしています。



植物を育てる、園外保育などで自然に触れる活動を通じて、自然を身近に感じ、大切にしようとする気持ちを育てています。